

- 問1 九州地方にある阿蘇山は、中央部が円形に大きく窪んだ特殊な地形を持っています。火山活動によって火山灰や溶岩が大量に噴き出したあと、その場所が陥没してできたこのような大規模な窪地を何と呼びますか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. カルデラ 2. シラス台地 3. リアス海岸 4. 扇状地
- 問2 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本国内の消費地が近いので、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから 2. 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから 3. 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから 4. 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから
- 問3 鹿児島県を中心に分布するシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産が中心に行われてきた理由として、この土地の土壌が持つどのような性質が関係していますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 粘土質の土壌で水を通しにくく、常に湿地状態であるため 2. 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いので、稲の成長が遅いため 4. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の病気が発生しやすいため
- 問4 九州地方の自然環境と地形の成り立ちについて述べた文として、阿蘇山に見られる「カルデラ」の形成理由を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。 2. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。 3. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。 4. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。
- 問5 鉄道の営業距離が約423kmあり、2004年には北西から九州新幹線が開通した鹿児島県の産業や交通の特徴について、正しい説明はどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 県庁所在地の人口は約20万人であり、公共交通機関としてのバスや路面電車はほとんど普及していない。 2. シラス台地は農業専用の地域として保護されているため、住宅地としての開発は禁止されている。 3. 東側の半島に石油備蓄基地が集中しているため、西側の薩摩半島には主要な産業施設がない。 4. 西側の薩摩半島には石油備蓄基地が立地し、周辺には鉄道も通っている。
- 問6 宮崎県において、冬でも温暖な気候を活かした農業が発達した理由を、海流の性質と地形の観点から説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため海面温度が安定し、平野部を流れる河川が常に霧を発生させて作物を保護するため。 2. 北部の山地から吹き下ろす乾燥した冷たい風が、暖流の湿った空気と混ざり合うことで、ビニールハウス内の温度を一定に保つため。 3. 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。 4. 沖合を流れる寒流が夏場の気温上昇を抑える一方で、南側の平野部が日射を長時間受けることで年間平均気温が高まるため。
- 問7 九州地方の再生可能エネルギーに関する調査報告において、大分県には日本最大級の出力規模を誇る八丁原発所があることが紹介されています。この発電所が位置する自治体名を次から選びなさい。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 鹿児島県霧島市 2. 熊本県阿蘇市 3. 長崎県雲仙市 4. 大分県九重町
- 問8 福岡県は、博多港と韓国の釜山（プサン）を結ぶ高速船などの国際定期航路が整備されているといった地理的特性を活かした観光が盛んです。2015年のデータにおいて、福岡県での宿泊者数が約85万人と、中国（約28万人）やアメリカ（約6万人）を大きく上回り、最も高い割合を占めている国はどこですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 韓国 2. フィリピン 3. 台湾 4. 中国
- 問9 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること 2. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること 3. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること 4. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること
- 問10 九州南部の鹿児島県周辺に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積して形成された台地を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 関東ローム層 2. カルデラ 3. 扇状地 4. シラス台地
- 問11 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 2. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 3. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 4. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。
- 問12 九州地方に位置するある県は、陸上で隣接している県が1つのみですが、多くの島々を擁しているため、海岸線の長さが約2665kmと非常に長い特徴があります。この条件に当てはまる県として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 佐賀県 3. 福岡県 4. 長崎県
- 問13 人口の増減を分析する際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることによって生じる人口増加のことを何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 自然的増加 2. 転入超過 3. 人口密度の上昇 4. 社会的増加
- 問14 九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。 2. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。 3. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってきた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。 4. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 カルデラ	阿蘇山に代表されるこの地形は、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出したあと、空洞になった場所が重みで崩れ落ちる（陥没する）ことで形成されます。ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉が語源となっており、日本だけでなく世界各地の火山地帯で見られる地形です。
問2	答え 3 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問3	答え 2 火山灰が堆積した層でできており、極めて水はけが良いため	シラスの層は粒が粗く隙間が多いため、水が地下へ浸透しやすく、表面に水を溜めておく必要がある水田稲作には不向きな土地でした。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培、あるいは広大な土地を活かした豚や肉用牛の飼育といった畜産業が発展する背景となりました。
問4	答え 2 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。	カルデラは、噴火に伴う地表の陥没によって形成される地形です。選択肢にある「火山灰が積み重なってできた台地」はシラス台地を指し、南九州（鹿児島県など）に多く見られます。阿蘇山のカルデラ内には草原が広がり、人々の居住地や耕作地、鉄道網などが整備されている点が地理的な特徴です。
問5	答え 4 西側の薩摩半島には石油備蓄基地が立地し、周辺には鉄道も通っている。	鹿児島県の西側に位置する薩摩半島には、国家石油備蓄基地（喜入基地など）が立地しており、エネルギー供給の拠点となっています。交通面では2004年の九州新幹線開通により福岡方面との時間が短縮されたほか、県庁所在地である鹿児島市（人口約61万人）では、シラス台地上の住宅地と都心を結ぶバス網や、環境に配慮した路面電車が市民の足として機能しています。
問6	答え 3 沖合を流れる暖流が周囲の気温を下げにくくし、さらに北部の山地が冬の冷たい季節風を遮る役割を果たしているため。	宮崎県が冬でも温暖なのは、低緯度に位置することに加え、太平洋を流れる暖流（黒潮）が熱を運んでくるためです。また、北部にそびえる山地が、冬に大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風を遮る防壁のような役割を果たしていることも、平野部における温暖な気候の維持に大きく貢献しています。この環境が、冬場に野菜を作る促成栽培などの園芸農業を支えています。
問7	答え 4 大分県九重町	大分県九重町にある八丁原（はっちょうばる）発電所は、火山活動が活発な九州地方の特性を活かした日本最大級の地熱発電所です。大分県は温泉の湧出量も日本一であり、豊富な熱エネルギーを電力供給に活用している地域的な特色があります。
問8	答え 1 韓国	福岡県は九州北部に位置し、朝鮮半島との距離が非常に近いという地理的優位性を持っています。特に博多港には国際定期航路が確立されており、航空機だけでなく高速船などの船舶を利用したアクセスの良さが、韓国からの観光客が圧倒的に多いという全国的にも珍しい特徴を生み出しています。
問9	答え 4 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること	製造業、特に自動車の組立や部品製造を行う工場が多数立地している地域では、直接生産活動を支える労働者が必要とされるため、第2次産業の就業者が集中します。そのため、卸売・小売業などの第3次産業が中心になりやすい県庁所在地などの他の都市と比較して、第2次産業の割合が相対的に高くなるのが特徴です。
問10	答え 4 シラス台地	九州南部に分布するこの台地は、巨大な噴火による火砕流などの堆積物によって作られました。この土壌は非常に厚く堆積しており、地域の農業のあり方に大きな影響を与えています。
問11	答え 2 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	九州地方は鹿児島県や宮崎県などを中心に肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んであり、農業産出額の品目別割合では畜産が最も高い割合を占めています。なお、米の割合が高いのは東北地方、野菜の割合が高いのは関東地方の特徴となります。
問12	答え 1 鹿児島県	九州最南端に位置する鹿児島県は、陸地では北東部で宮崎県のみと隣接しています。一方で、桜島や種子島、屋久島、奄美群島など、南北に広がる多くの島々を含んでいるため、海岸線の総延長は全国でも屈指の長さになっています。対照的に長崎県も海岸線は長いですが、佐賀県と接しており、鹿児島県ほどの長さではありません。
問13	答え 1 自然的増加	出生数と死亡数の差によって生じる人口の変動を自然的増減と呼びます。出生数が死亡数を上回れば「自然的増加」、逆であれば「自然的減少」となります。これに対し、進学・就職などの移動による増減は「社会的増減」と呼ばれ、両者を区別して理解することが重要です。
問14	答え 2 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。	九州地方は阿蘇山や桜島などの活火山が多く、火山活動による熱エネルギーが豊富なため、大分県の八丁原発所に代表される地熱発電が盛んです。選択肢にあるシラス台地は水持ちが悪いため稲作には適さず、サツマイモなどの畑作や畜産が行われています。また、官営八幡製鉄所が建設されたのは福岡市ではなく現在の北九州市であり、筑豊炭田の石炭を利用していました。筑豊地域におけるエネルギー革命後の産業転換は、主に自動車産業の誘致などであり、地熱を利用した工業転換という記述は誤りです。